

折原クリーンセンター 竣工式開催!



7月11日に、折原地区農業集落排水処理施設「折原クリーンセンター」の竣工式が行われました。当日は町議会議員や大里農林振興センター所長、維持管理組合理事等の出席のもと完成を祝いました。

処理施設は、農村集落の生活環境や農業生産環境を改善するため、し尿や生活雑排水の生活排水等をまとめて処理する施設で、7月1日から供用が開始されました。

青少年の非行・被害防止 特別強調月間キャンペーン実施!

7月9日に、城南地区児童生徒健全育成協議会(奥泉令子会長)が鉢形駅で、男衾地区青少年健全育成協議会(吉田芳雄会長)が男衾駅で、また7月18日に寄居中学校区児童生徒健全育成協議会(佐野心作会長)が寄居駅と桜沢駅で、それぞれ午前7時から8時にかけて「青少年の非行・被害防止特別強調月間」キャンペーンを実施し、延べ70人の役員が参加しました。寄居駅に参加した役員は「4駅で、目標の1,000個の啓発品を配布することができました。これをきっかけに、青少年の非行・被害防止活動への関心が高まるとうれしいです」と話してくれました。



締結しました! 災害時協力協定

8月3日、町では株式会社アクティオ(小沼光雄代表取締役社長)と「災害時における物資の供給に関する協定書」の締結を行いました。

この協定の締結により、町内で地震や風水害等により大きな被害が発生したとき、電気や水道等のライフラインが停止する状況下で、避難所運営や災害復旧等で需要が予想される仮設トイレや発電機などについて、全国に営業拠点をもつアクティオ社の資機材を融通していただき、初動期の応急復旧を図るものです。

町では、さまざまな災害発生時の対応策の一つとして、今後も応援協定の拡大を図っていきます。



島田町長(左)と協定書を交わすアクティオ社中島嘉幸取締役(右)

寄居町と埼玉労働局がアクション・プランに基づく協定に調印!

8月2日に「平成22年12月28日付けアクション・プランに基づき寄居町と埼玉労働局が雇用、福祉施策等を一体的に実施するための協定調印式」が行われました。



寄居町長(左)と安藤よし子埼玉労働局長(右)

この協定を受け、町と埼玉労働局は就労支援の拠点として、9月3日、役場庁舎2階に「よりのジョブセンター」を開設し、町が持つ住民サービスのノウハウとハローワークの職業紹介の機能や情報を活用して一体的な運営を図っていきます。

また、若年者を対象とした合同面接会や、女性が働き始めるためのセミナー、障害者の方を対象とした相談等、求職者に対する幅広い支援を実施していく予定です。

寄居ジュニアソフトボールスポーツ少年団 県大会出場!



8月18日と19日の2日間「第35回埼玉県スポーツ少年団ソフトボール中央大会」が、さいたま市荒川総合運動公園で行われ、寄居ジュニアソフトボールスポーツ少年団が出場しました。

大会には、県内各地区代表の16チームが参加し、寄居ジュニアソフトボールスポーツ少年団は、1回戦で毛呂山ウイングスレディースと対戦し、11対2で敗れましたが、キャプテンの高橋亜実さん(鉢形小6年)は「目標だった県大会に出場し、チームみんなで協力して全力プレーができてよかったです。これからもっと練習して、どんなチームにも勝てるように頑張りたいです」と話してくれました。

人権擁護委員による 街頭啓発活動を実施しました!

8月4日の寄居玉淀水天宮祭にあわせ、玉淀河原付近の街頭で人権擁護委員の皆さんが人権啓発うちわの配布を行いました。

人権イメージキャラクターと人権標語を掲載したうちわを配りながら、明るい人権尊重社会を築くために「一人ひとりが関心を持ってください」と来場者へ呼びかけました。

なお、人権擁護委員は毎月2回開催される「心配ごと相談」の相談担当者になっています。お気軽にご相談ください。



埼北ウィンズ 全国大会出場!

8月12日から14日まで「第12回全日本中学生男女ソフトボール大会」が、大阪市の舞洲運動広場で行われ、埼北ウィンズが女子の部に出場しました。

大会には、予選会を勝ち上がった48チームが参加しました。埼北ウィンズは、3回戦まで勝ち進み、結果はベスト16でした。

監督の菅谷昌弘さん(栄町)は「今回の全国大会出場に際しまして、多くの方々からご協力、ご支援をいただきありがとうございました。共に練習してきたみんなで力を合わせれば、全国トップクラスになれることを選手自身がつかんだことが大きな収穫でした」と話してくれました。



開催しました! 塚田区で七夕交流会



社会福祉協議会では、地域支えあい活動の一環として、8月5日に塚田区集落センターで塚田区七夕交流会実行委員会主催による七夕交流会を開催しました。

子育て世代を地域で支援するための催しで、地域のつながりの強化と、幼児から高齢者までの多世代間の交流を目的に行われました。

当日は、家族ごとに七夕飾りを作ったり、全員で大きな七夕飾りを作ったり、ミュージックベルボランティアによる七夕コンサートを楽しんだり、終始穏やかな空気に包まれていました。

参加した家族は「この地域で子育てができてよかったです」と話してくれました。